

DATA
HORIZON

株式会社 データホライゾン 平成27年3月期 第3四半期 決算短信 補足説明資料

(証券コード:3628)



2015年2月13日

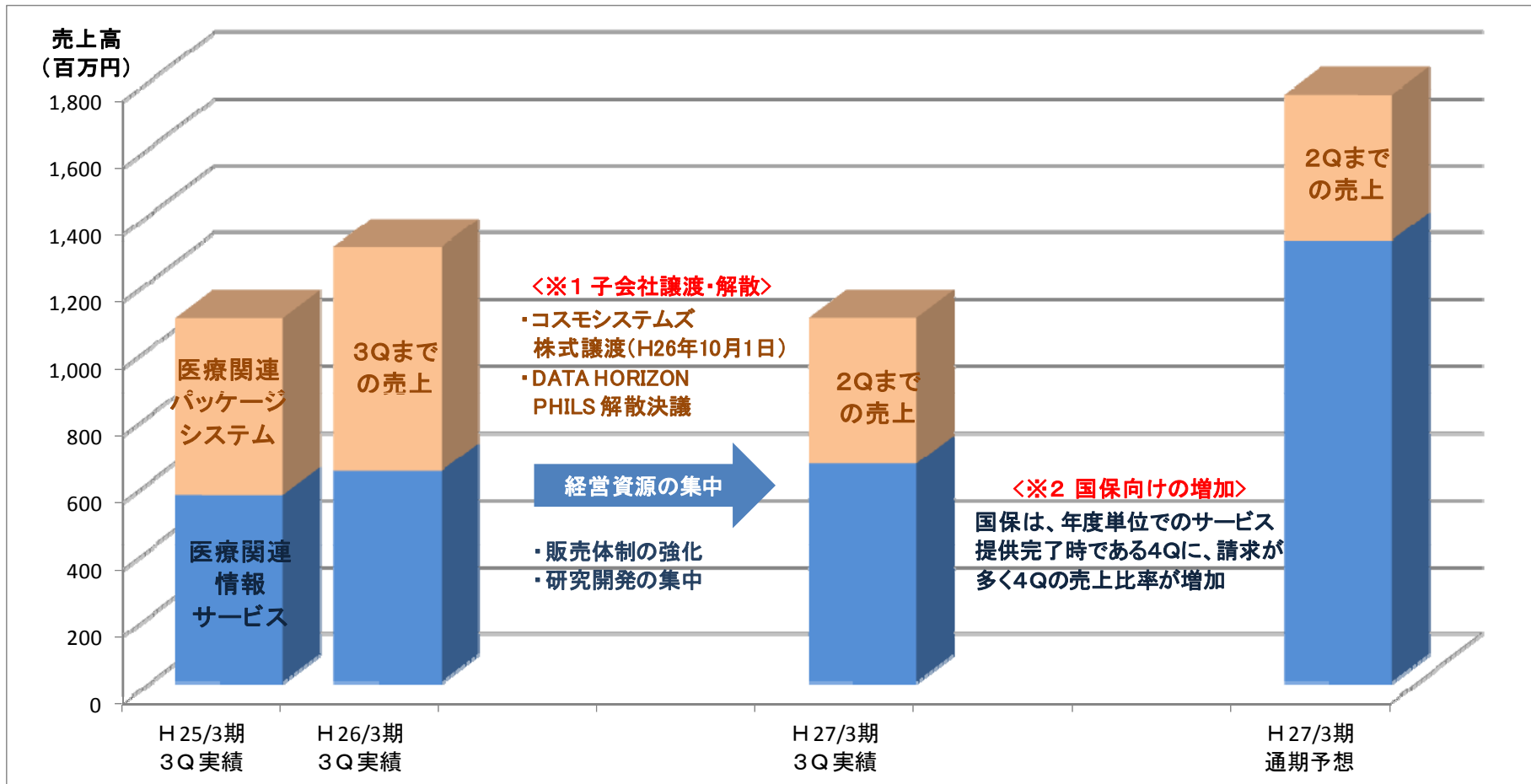
<http://www.dhorizon.co.jp>

1. 第3四半期 連結売上高

前年同期に比べ売上高が減少した理由

※1 データヘルスを中心とした医療関連情報サービスに特化するため、当四半期に子会社2社を譲渡・解散したことで当期は、医療関連パッケージシステムの売上が第2四半期(2Q)までとなる。

※2 医療関連情報サービスは、国保からの受注が増加するも、年度に1回の売上で第4四半期(4Q)に集中。



2. 第3四半期 特別損益等

連結子会社であるコスモシステムズ(株)の株式譲渡および、DATA HORIZON PHILS,INC.(以後DHPI)の解散に伴い、特別利益、特別損失、繰延税金資産の取崩しが以下の通り発生しています。

この結果、経常利益は前期並みですが、当期純利益の損失額は、縮小しています。

単位:百万円

勘定科目	前第3Q累計	当第3Q累計	当第3Q累計要因
経常利益	△345	△332	
子会社株式売却益	—	158	3Q コスモシステムズ(株)株式の譲渡益
特別利益	—	158	
固定資産除却損	2	0	
減損損失	—	10	2Q DHPI解散決議にともなう固定資産の減損
たな卸資産処分損	—	1	2Q コスモシステムズ(株)株式の譲渡前の不良在庫処分
特別損失	2	12	
税金等調整前四半期純利益	△347	△185	
法人税住民税及事業税	2	1	
法人税等調整額	△41	36	2Q コスモシステムズ(株)株式の譲渡決定により繰延税金資産を取崩し
法人税等合計	△39	37	
四半期純利益	△308	△222	

3. 第3四半期 連結貸借対照表

平成26年10月1日に、コスモシステムズ(株)の株式を譲渡したことにより、当第3四半期から同社が連結対象から除外されたため、連結貸借対照表は前期末に比べ、流動資産と流動負債が大幅に減少し、自己資本比率は高くなっている。

単位：百万円

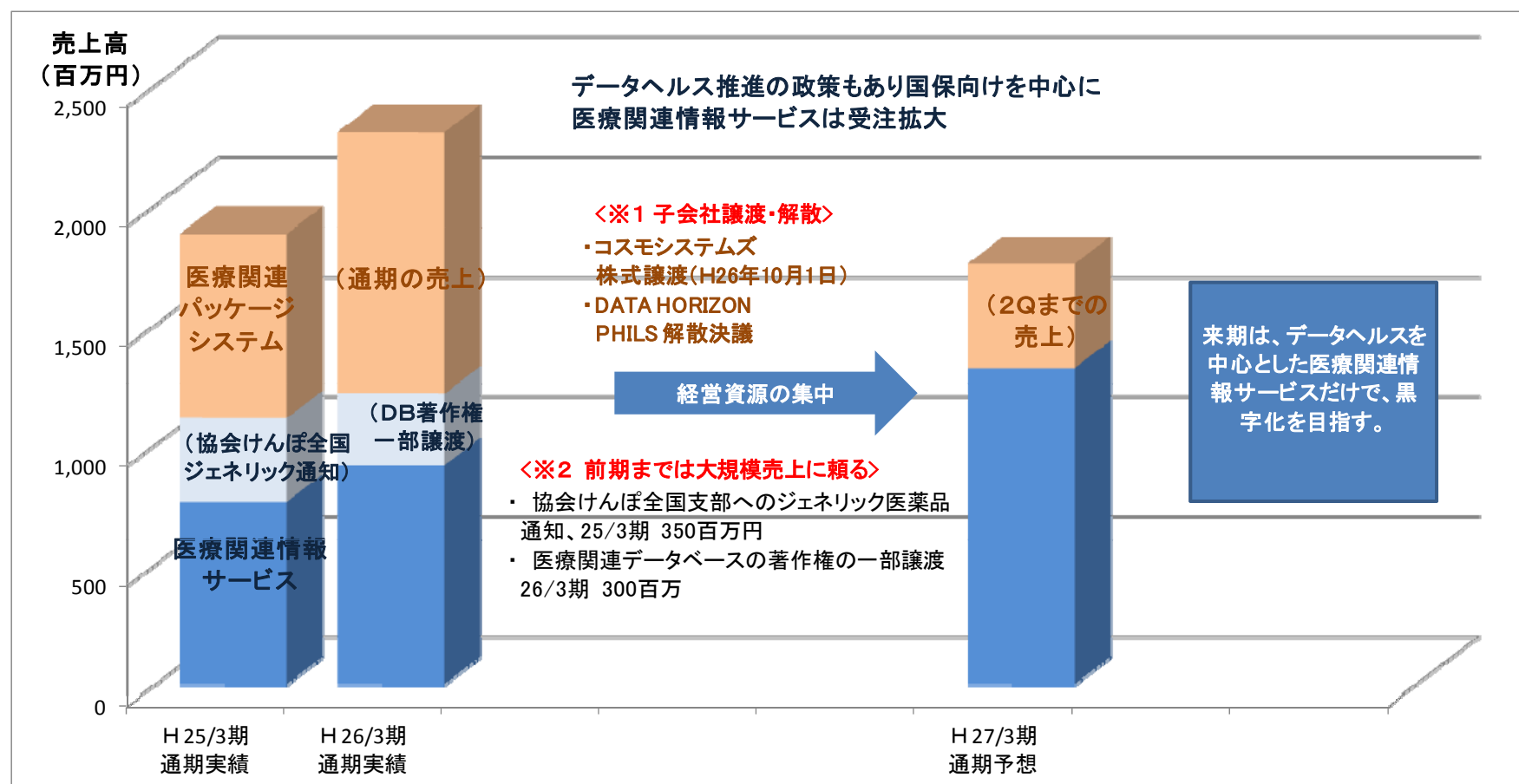
	前期末	増減	増減の内訳		当第3Q末
			コスモシステムズ(株)連結除外	その他	
流動資産	1,244	△735	△524	△211	508
固定資産	428	△56	△40	△16	372
資産合計	1,672	△791	△564	△227	881
流動負債	727	△510	△448	△62	218
固定負債	92	△67	△58	△9	25
負債合計	819	△577	△506	△71	242
純資産	853	△214	—	△214	638
(自己資本比率)	(51%)				(72%)
負債純資産合計	1,672	△791	△506	△285	881

4. 通期業績予想 連結売上高

前年に比べ売上高が減少する理由

※1 データヘルスを中心とした医療関連情報サービスに特化するため、当四半期に子会社2社を譲渡・解散したことで、当期は、医療関連パッケージシステムの売上が第2四半期(2Q)までとなる。

※2 医療関連情報サービスは、国保からの受注が増加するも、前期までの大規模売上が無く合計では、微増に。来期はデータヘルスを中心とした医療関連情報サービスだけで黒字化を目指す。



5. 通期業績予想 連結営業利益

前年に比べ営業利益が減少する理由

- ※1 当四半期に子会社2社を譲渡・解散したが、2社の2Qまでの損失は残る。来期からは赤字2社の負担が軽減。
- ※2 医療関連情報サービスは、国保からの受注増加によりセグメント利益も増加し黒字化するも、大規模売上が無く合計では損失が拡大。来期は、データヘルスを中心とした医療関連情報サービスだけで黒字化を目指す。

